Active IQ Unified Managerの概要

Active IQ Unified Manager

NetApp
November 13, 2026

This PDF was generated from https://docs.netapp.com/ja-jp/active-iq-unified-manager-918/storage-mgmt/concept_introduction_to_unified_manager.html on November 13, 2026. Always check docs.netapp.com for the latest.

目次

Active IQ Unified Managerの概要 . . . 1
- Active IQ Unified Manager について学ぶ . . . 1
- Active IQ Unified Manager の健全性監視について学ぶ . . . 1
  - 物理容量と論理容量 . . . 2
  - 容量の測定単位 . . . 2
- Active IQ Unified Manager のパフォーマンス監視について . . . 2
- Active IQ Unified Manager REST API を使用する . . . 3
- Unified Managerサーバの機能 . . . 3
  - Active IQ Unified Manager サーバについて . . . 3
  - Active IQ Unified Manager におけるクラスター検出プロセスの仕組みについて説明します。 . . . 3

Active IQ Unified Managerの概要

Active IQ Unified Manager について学ぶ

Active IQ Unified Manager（旧OnCommand Unified Manager）では、ONTAPストレージシステムの健全性とパフォーマンスを一元的に監視および管理することができます。

Unified Managerは以下の機能を提供します：

- ONTAPソフトウェアがインストールされたシステムの検出、監視、通知を行います。
- 容量、セキュリティ、パフォーマンスなど、環境の健全性をダッシュボードに表示します。
- アラート、イベント、およびしきい値インフラが強化されています。
- ワークロードのアクティビティを時系列でプロットした詳細なグラフを表示します。これには、IOPS（操作数）、MBps（スループット）、レイテンシ（応答時間）、利用率、パフォーマンス容量、キャッシュ比率が含まれます。
- クラスタコンポーネントを過剰に使用しているワークロードと、アクティビティの増加によってパフォーマンスに影響を受けているワークロードを特定します。
- 特定のインシデントやイベントに対し、実行できる対処方法を提案します。一部のイベントには[修正]ボタンが表示され、問題をただちに解決できます。
- OnCommand Workflow Automation と統合して、自動化された保護ワークフローを実行します。
- LUNやファイル共有などの新しいワークロードをUnified Managerから直接作成し、パフォーマンス サービス レベルを割り当てて、そのワークロードを使用してアプリケーションにアクセスするユーザ向けにパフォーマンスとストレージの目標を定義することができます。

Active IQ Unified Manager の健全性監視について学ぶ

Active IQ Unified Manager（旧OnCommand Unified Manager）では、ONTAPソフトウェアを実行する多数のシステムを一元化されたユーザ インターフェイスで監視できます。Unified Managerサーバ インフラは拡張性とサポート性に優れ、高度な監視および通知機能を備えています。

Unified Managerの主な機能は、クラスタの可用性と容量の監視 / 通知 / 管理、保護機能の管理、診断データの収集とテクニカル サポートへの送信です。

Unified Managerを使用してクラスタを監視できます。クラスタで問題が発生すると、Unified Managerのイベントを通じて問題の詳細が通知されます。一部のイベントでは、問題を解消するための対応策も提示されます。問題が発生したときにEメールやSNMPトラップで通知されるように、イベントに対してアラートを設定できます。

Unified Managerでは、アノテーションを関連付けることで環境内のストレージ オブジェクトを管理できます。カスタム アノテーションを作成し、ルールに基づいて動的にクラスタ、Storage Virtual Machine（SVM）、およびボリュームを関連付けることができます。

また、それぞれのクラスタ オブジェクトについて、容量や健全性のグラフに表示される情報を使用してストレージ要件を計画することもできます。

物理容量と論理容量

Unified Managerは、ONTAPストレージ オブジェクトに使用される物理容量と論理容量の概念を利用します。

- 物理的容量：物理的空間とは、ボリューム内で使用される物理的なストレージブロックを指します。「物理使用済み容量」は通常、ストレージ効率化機能（重複排除や圧縮など）によるデータの削減により、使用済み論理容量よりも小さくなります。
- 論理容量：論理空間とは、ボリューム内の使用可能な空間（論理ブロック）を指します。論理空間とは、重複排除や圧縮の結果を考慮しない、理論上の空間をどのように利用できるかを示すものです。「使用済み論理スペース」とは、使用されている物理スペースに、設定されているストレージ効率化機能（重複排除や圧縮など）による節約分を加えたものです。この測定値は、データ圧縮やその他の物理スペースの削減を反映していないため、物理的な使用容量よりも大きく見えることがよくあります。したがって、論理容量の合計は、割り当てられた容量よりも大きくなる可能性があります。

容量の測定単位

Unified Managerは、1024（2^{10}）バイトのバイナリ単位に基づいてストレージ容量を計算します。ONTAP 9.10.0以前では、これらの単位はKB、MB、GB、TB、PBと表示されていました。ONTAP 9.10.1以降では、Unified ManagerでKiB、MiB、GiB、TiB、PiBとして表示されます。

スループットに使用される単位は、すべてのリリースのONTAPについて、引き続きキロバイト/秒（Kbps）、メガバイト/秒（Mbps）、ギガバイト/秒（Gbps）、テラバイト/秒（Tbps）などになります。

ONTAP 9.10.0以前の**Unified Manager**に表示される容量単位	**ONTAP 9.10.1**の**Unified Manager**に表示される容量単位	計算式	バイト単位の値
KB	KiB	1024	1024バイト
MB	MiB	1024 * 1024	1,048,576バイト
GB	GiB	1024 * 1024 * 1024	1,073,741,824バイト
TB	TiB	1024 * 1024 * 1024 * 1024	1,099,511,627,776バイト

Active IQ Unified Manager のパフォーマンス監視について

Active IQ Unified Manager（旧OnCommand Unified Manager）は、NetApp ONTAPソフトウェアを実行するシステムを対象に、パフォーマンス監視機能とパフォーマンス イベントの根本原因分析機能を提供します。

Unified Managerは、クラスタコンポーネントを過剰に使用し、クラスタ上の他のワークロードのパフォーマンスを低下させているワークロードを特定するのに役立ちます。パフォーマンスしきい値ポリシーを定義することで、特定のパフォーマンスカウンタの最大値を指定し、しきい値を超えたときにイベントを生成することもできます。Unified Managerはこれらのパフォーマンスイベントを通知し、是正措置を講じてパフォーマンスを通常の動作レベルに戻すことができるようにします。Unified Managerのユーザーインターフェースでイベントを表示および分析できます。

Unified Managerは、2種類のワークロードのパフォーマンスを監視します。

- ユーザ定義のワークロード

  このワークロードは、クラスタに作成したFlexVolとFlexGroupボリュームで構成されます。

- システム定義のワークロード

  このワークロードは、内部のシステム アクティビティで構成されます。

Active IQ Unified Manager REST API を使用する

Active IQ Unified Managerには、ストレージ環境の監視と管理に関する情報を表示するためのREST APIが用意されています。また、ポリシーに基づいてストレージ オブジェクトをプロビジョニングおよび管理できるAPIもあります。

Unified Managerでサポートされるapiゲートウェイを使用して、ONTAPのすべての管理対象クラスタに対してONTAP APIを実行することもできます。

Unified Manager REST API の詳細については、"Active IQ Unified Manager REST APIでの作業の開始"を参照してください。

Unified Managerサーバの機能

Active IQ Unified Manager サーバについて

Unified Managerサーバーのインフラストラクチャは、データ収集ユニット、データベース、およびアプリケーションサーバーで構成されています。検出、監視、ロールベースのアクセス制御（RBAC）、監査、およびログ記録などのインフラストラクチャサービスを提供します。

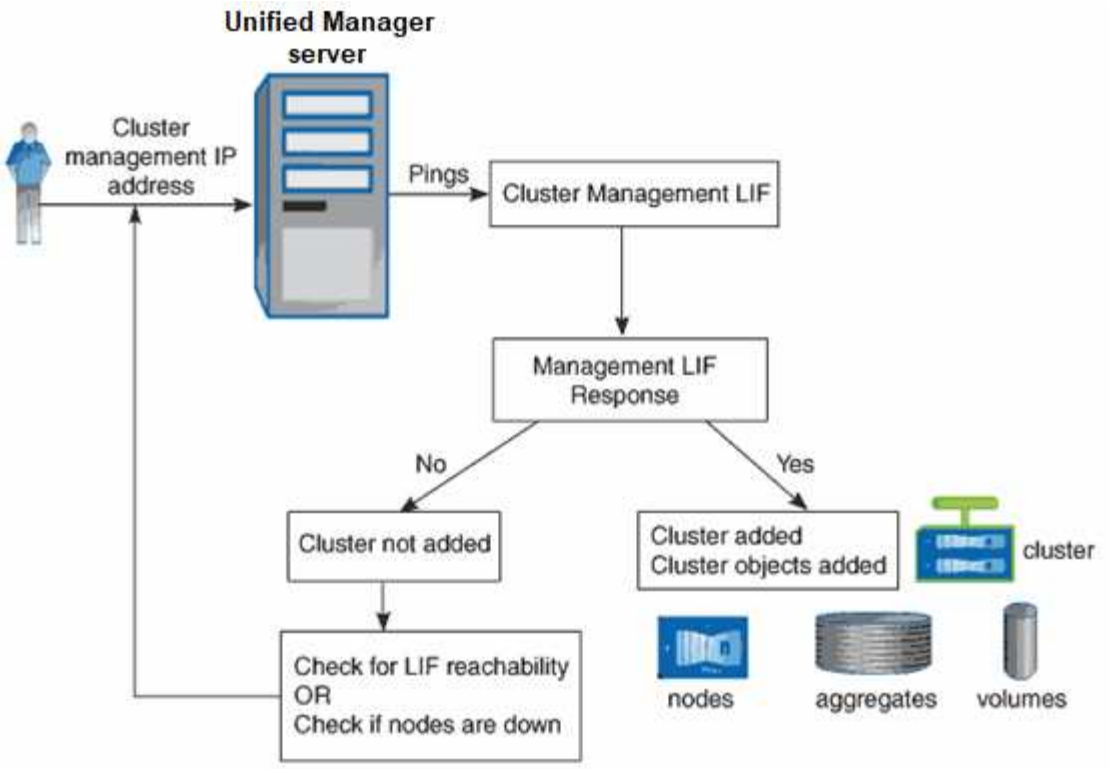
Unified Managerはクラスタ情報を収集し、そのデータをデータベースに保存し、データを分析してクラスタに問題がないかどうかを確認します。

Active IQ Unified Manager におけるクラスター検出プロセスの仕組みについて説明します。

Unified Managerにクラスターを追加すると、サーバーはクラスターオブジェクトを検出し、それらをデータベースに追加します。検出プロセスの仕組みを理解することで、組織のクラスターとそのオブジェクトを管理しやすくなります。

デフォルトの監視間隔は 15 分です。Unified Manager サーバーにクラスターを追加した場合、Unified Manager の UI にクラスターの詳細が表示されるまで 15 分かかります。

次の図は、Active IQ Unified Managerでの検出プロセスを示しています。


Unified Manager server
Cluster management IP address
Pings
Cluster Management LIF
Management LIF Response
No
Yes
Cluster not added
Cluster added
Cluster objects added
cluster
Check for LIF reachability
OR
Check if nodes are down
nodes
aggregates
volumes

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、http://www.netapp.com/TMに記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。